

ときめく♡

源氏物語

1000年読み継がれてきた『源氏物語』

その華やかさと人間の真実を描く奥深さに、人々は魅了され続けています。

『源氏物語』の魅力は、源氏物語絵巻や源氏絵、源氏香などの芸術分野や古典や和菓子の文化にも派生。内容から平安時代の生活を知ることができます。

さまざまな視点で『源氏物語』をお楽しみください。

日本名作映画上映会『源氏物語』関連資料紹介コーナー

期間：令和5年8月10日（木）～9月8日（金）※休室日8月11日（祝）を除く 会場：2階京都資料総合閲覧室 歴彩館本コーナー

No.	タイトル	編著者	発行所等	出版年	請求記号 資料ID
-----	------	-----	------	-----	-----------

♡『源氏物語』を読む

1	日本古典文学大系 源氏物語, 1	紫式部著 山岸徳平校注	岩波書店	1977	書庫 Y 918 O17693 110652699
全1～5巻。全54帖の原文(翻刻:活字化されたもの)を掲載。頭注や補注があり、本文を読解する助けになります。					
2	新選源氏物語五十四帖	森一郎編	和泉書院	1985	書庫 913.364 Mo45 118011699
原文(翻刻)を掲載。全54帖のうち、光源氏をとりまく女性に焦点を当てて文章を選んでいきます。					
3	桐壺：『源氏物語』より	畠中光享絵 石井睦美文	「京の絵本」刊行 委員会 同朋舎	1994	開架 K0 726.6 H42 110527352
『源氏物語』第1帖「桐壺」が絵本に！色あざやかに分かりやすく読むことができます。					

♡『源氏物語』を深掘りする

4	紫式部日記を読み解く：源氏物語の作者が見た宮廷社会	池田節子著	臨川書店	2017	開架 915.35 32 118009676
容姿を形容する語や食をめぐる語など、『源氏物語』の言語表現を『紫式部日記』と比較して考察します。					
5	源氏物語の平安京	加納重文著	青簡舎	2011	開架 K1 913.36 Ka58 110980335
『源氏物語』に出てくる地名は平安京のどこにあたるのでしょうか。例えば、「北山」は若紫との出会いの地です。(p.91)					
6	初めての源氏物語：宇治へようこそ	家塚智子著	宇治市文化財愛護 協会	2015	開架 K25-1 913.36 21 110992972
『源氏物語』が広がると、特に和歌の世界では、宇治は「宇治十帖」の地として認識されました。(p.80)					
7	紫式部の暗号：世界のKyotoへいざなう：『源氏物語』の裏ポイントは「気象」	石井和子著	三五館	2016	開架 K1 913.36 75 110998673
春夏秋冬に梅雨や猛暑、台風などの気象現象から『源氏物語』を読み解きます。中には、「北山時雨」の演出も。(p.167)					
8	歴史のなかの源氏物語	山中裕編	思文閣出版	2011	書庫 910.36 Y34 118009847
『日本書紀』をはじめとする歴史書から仮名文学の時代へ。歴史学の知見から『源氏物語』を考察します。					
9	源氏物語を読む	瀧浪貞子編	吉川弘文館	2008	書庫 210.36 Ta73 110955778
紫式部は、文学という虚構の中に人間の真実や歴史を書きました。歴史的観点から読む『源氏物語』論です。					

♡『源氏物語』と芸術

10	国宝源氏物語絵巻	五島美術館学芸部 編纂	五島美術館	2010	開架 721.2 G72 110970596
五島美術館(東京)と徳川美術館(愛知)が所蔵する、国宝「源氏物語絵巻」のすべて。					
11	土佐派源氏絵研究	和泉市久保惣記念 美術館編	和泉市久保惣記念 美術館	2020	開架 721.2 99 118016314
江戸時代に普及した『源氏物語』をモチーフとする源氏絵。土佐光吉による重要文化財「源氏物語手鑑」をはじめ、土佐派の作品が並びます。					
12	源氏物語画帖：石山寺蔵四百画面	鷲尾遍隆監修 中野幸一編集	勉誠出版	2005	開架 721.2 N39 110980669
紫式部は、石山寺に参籠して『源氏物語』を執筆しました。石山寺所蔵の「源氏物語画帖」400図を原寸大で掲載します。					
13	源氏物語：遊興の世界	阪急文化財団逸翁 美術館ほか編集	阪急文化財団 思文閣	2012	開架 721.087 91 110980163
奏楽、舞楽、絵合、雛遊び、雪遊び——『源氏物語』の物語絵に描かれた遊興の世界へ誘います。					

No.	タイトル	編著者	発行所等	出版年	請求記号 資料ID
14	源氏香の世界：二〇〇八年度京都の美術・工芸展	香文化資料室松栄堂松寿文庫編	香文化資料室松栄堂松寿文庫	2008	開架 Ⅱ792ⅡSh95Ⅱ110955505
香道における代表的な組香のひとつ「源氏香」。香道具や源氏香を描いた絵画などを紹介します。					
15	読む、見る、遊ぶ源氏物語の世界：浮世絵から源氏意匠まで：源氏物語千年紀事業・開館二十周年記念特別展	京都文化博物館編集	京都文化博物館	2008	書庫 Ⅱ708.7ⅡKy6Ⅱ110966411
江戸時代、出版文化の隆盛により、諸芸術を通して『源氏物語』が庶民にまで広まります。					

♥『源氏物語』と古典

16	土佐日記/かげろう日記/和泉式部日記/更級日記	西下経一ほか校注	岩波書店	1977	書庫 YⅡ918ⅡO17699Ⅱ110652705
平安時代中期に成立した『更級日記』には、作者の菅原孝標女が『源氏物語』に夢中になり、雅やかな宮廷生活に憧れた描写があります。					
17	山口剛著作集、第4	山口剛著	中央公論社	1980	書庫 YⅡ910.25ⅡO10284Ⅱ110647297
江戸時代末期の柳亭種彦による『修紫田舎源氏』。『源氏物語』の世界を室町時代へ移し、絵草紙として翻案しました。(p.327)					

♥平安時代の生活を知る

18	源氏物語と平安京：考古・建築・儀礼	日向一雅編	青簡舎	2008	開架 K1Ⅱ210.36ⅡH61Ⅱ110957289
寝殿を中心に左右対屋があり、南池に中島が浮かぶ光源氏の邸宅「六条院」は、寝殿造の理想形でした。(p.160)					
19	平安京と王朝びと：源氏物語の雅び	京都新聞出版センター編	京都新聞出版センター	2008	開架 K1Ⅱ210.36ⅡKy6Ⅱ110956869
都の夏はシースルーで克服？ダイエットには水飯と湯漬け！平安時代の衣食住を、歴史資料や写真で解説します。(p.86)					
20	古典がおいしい！平安時代のスイーツ	前川佳代著 穴戸香美著	かもがわ出版	2021	開架 Ⅱ383.81ⅡMa27Ⅱ118025796
『源氏物語』で蹴鞠のあとの腹ごしらえに食べる「つばきもち」と、出産祝いの宴に出る「ふずく」のレシピを公開！(p.30)					
21	平安京のニオイ	安田政彦著	吉川弘文館	2007	開架 K1Ⅱ210.36ⅡY62Ⅱ110948627
涙を拭いた袖の香の匂いや薫の君の芳しい匂いなど、『源氏物語』にはさまざまな「匂ひ」の描写があります。(p.159)					
22	源氏物語花ごよみ	京都府立植物園[編]	京都新聞社	2008-2009	書庫 K1Ⅱ913.36ⅡKy6Ⅱ110960189
第35帖「若菜下」に出てくるカジノキの葉は、七夕祭りに和歌を書いて楽しむ習慣がありました。『源氏物語』に登場する草木を写真とともに解説。					
23	平安朝の女性と政治文化：宮廷・生活・ジェンダー	服藤早苗編著	明石書店	2017	開架 Ⅱ210.36ⅡF84Ⅱ118002581
平安時代、虫歯は「齲齒」と書き、「むしかめは」と呼ばれていました。はたしてその治療法とは……？(p.244)					
24	平安貴族の実像	阿部猛著	東京堂出版	1993	開架 Ⅱ210.36ⅡA12Ⅱ118011407
才能がない人、勤勉な人、酒色におぼれる人……現代にも似た人間味豊かな官人の姿があります。(p.110)					
25	平安京の下級官人	倉本一宏著	講談社	2022	開架 K1Ⅱ216.203ⅡKu53Ⅱ118025784
出世は見込めず給与も少ない。与えられた業務をこなすだけの毎日で、下級官人が仕事をサボる言い訳とは？(p.73)					
26	紫式部の生きた京都：つちの中から：源氏物語千年紀記念出版	京都市埋蔵文化財研究所監修	ユニプラン	2008	開架 K1Ⅱ210.36ⅡKy6Ⅱ110956572
考古学の知見から、平安京出土遺物をもとに、『源氏物語』が生まれた時代背景を探ります。					
27	平安仏教と末法思想	速水侑著	吉川弘文館	2006	開架 Ⅱ182.1ⅡH47Ⅱ110948196
末法思想に基づく天台浄土信仰が広がった平安時代、『源氏物語』にも天台の信仰に係る描写があります。(p.38)					

♥『源氏物語』を楽しむ

28	源氏物語散策帖：ゆかりの地をめぐる	らくたび文庫	コトコト	2008	開架 K1SⅡ291.62ⅡR12Ⅱ110955738
全54帖のあらすじ付き。『源氏物語』の世界に浸り、ゆかりの地をめぐるお供に必携の一冊です。					
29	御菓子司聚光の源氏物語	梶裕子著	光村推古書院	2008	開架 K1Ⅱ596.65ⅡKa22Ⅱ118017000
『源氏物語』全54帖から着想を得た彩りゆたかな和菓子で、「口福」を感じるひとときを。					
30	ささはよもやま糸ひもせす：京都・祇園のパーティーがつくる、源氏物語カクテル	浅野徹著	たる出版	2011	開架 K1Ⅱ596.7ⅡA87Ⅱ110974176
祇園のパーティーによる『源氏物語』をイメージしたカクテル。例えば、車争いを書いた第9帖「葵」は「女の意地」。(p.43)					